

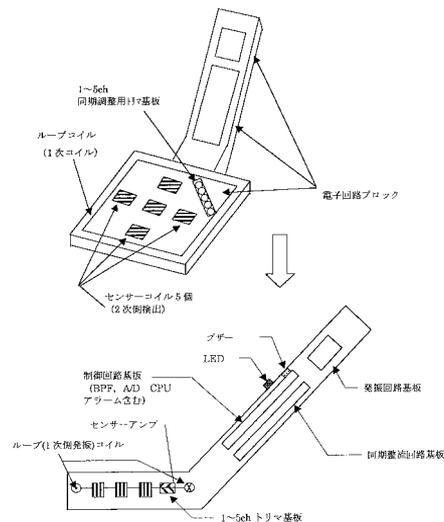
医療廃棄物内に誤入した注射針を検知する装置

企業 / マツダマイクロニクス

研究者 / 阿岸鉄三（東京女子医科大学腎臓病総合医療センター所長、外科教授）

従来の金属探知機では検知出来ないステンレス製の微小な注射針を検知できる技術を開発した。金属異物の進入によって乱された磁界の変化分だけを検出する本方式は、微小なステンレス金属片によって生じる僅かな磁界の乱れをも捉える事ができ、高感度で安定な検知特性を有する事が検証できた。

今後も継続して必要な技術を開発し、医療廃棄物内に誤入した注射針を検知する装置の実用化を推進する計画である。医療現場での使用済み注射針が医療廃棄物内に混入して廃棄物処理業者や清掃業者が血液感染症を患う事故が恐れられているが、誤入した注射針を見つける適切な検知器がなく完全に防止できていないのが現状である。本モデル化によって、誤入した注射針を検知する装置の実用化の見通しを得た。



試作組立図